



セービング ザ プラネット
みんなで SAVING THE PLANET
地域のお客さまとともに
これからも地球環境を守り続けていきます

公益財団法人イオン環境財団(理事長 岡田卓也 イオン株式会社名誉会長相談役)は、6月5日(土)「世界環境デー」※¹に、お客さまとともに夢のある未来の実現に向け、地球環境を考え、行動する取り組みを実施します。

本取り組みは、当財団が設立30年を迎えた2020年からスタートしました。「お客さまを原点に平和を追求し、人間を尊重し、地域社会に貢献する」というイオンの基本理念のもと、昨年は、幕張エリア2,000名のイオン従業員が店舗等で「SAVING THE PLANET」のメッセージが刻まれたTシャツ※²を各勤務場所で着用し、地球環境を守り続けていく決意を社会に表明しました。

本年は、取り組み内容を拡大し、幕張エリアを中心に5,000名のイオン従業員がTシャツを着用しお客さまとともに環境活動に取り組んでまいります。また、6月5日(土)に実施予定の「幕張の浜 ビーチクリーン活動」に参加頂く地域の皆さまにも「SAVING THE PLANET」メッセージのTシャツを着用頂く予定です。

当財団は、今後もいのちあふれる美しい地球を次代に引き継ぐため、様々な環境保全活動を積極的に推進してまいります。

記

<概要>

- 実施内容① 6月5日(土) 幕張エリアのイオン従業員約3,500名がTシャツを着用
(イオンモール幕張新都心、イオン幕張店、イオンスタイル幕張ベイパーク等)
* その他エリアでも1,500名が着用
- 実施内容② 6月5日(土)～13日(日) イオンスタイル幕張新都心のイオンコートにて当財団の活動のパネルを展示
- 実施内容③ 6月5日(土)9:00～10:30 地域の皆さま、イオン従業員など約200名が「幕張の浜 ビーチクリーン活動」を実施

※1 「世界環境デー」は、1972年6月5日ストックホルムにて開催された「国連人間環境会議」を記念し日本の提案を受け、6月5日を環境保全に対する関心を高め啓発活動を図る日として、国連が制定した国際的な記念日です。また、日本では1991年から6月を「環境月間」とし、皆で地球環境課題を考え行動するという1ヵ月とされています。

※2 キャサリン ハムネット「SAVING THE PLANET」メッセージロゴ Tシャツ



可能な限り環境に配慮したエシカルな生産背景で製作し、持続可能な仕組みを作り上げる「キャサリン ハムネット」ブランドと、イオントップバリュ(株)の共同プロジェクトとして販売しているTシャツです。売上1枚につき100円が当財団の植樹活動資金として寄付されます。

【参考】

■2020年「世界環境デー」



■公益財団法人イオン環境財団について

1990年「お客さまを原点に平和を追求し、人間を尊重し、地域社会に貢献する」というイオンの基本理念のもと設立され、本年で31年を迎えました。時代とともに変化する環境課題に応じた事業を継続実施しており現在は「イオンの森づくり」・「助成」・「環境教育」・「パートナーシップ」の4事業を中心にステークホルダーの皆さまとともに環境活動を進めています。

<公益財団法人イオン環境財団ホームページ: <http://www.aeon.info/ef/> >

■イオンの森づくり

イオンは、各国政府や地域行政と協力し、自然災害や伐採などで荒廃した森の再生を目的に、アジアを中心に世界各地のボランティアの皆さまとともに植樹活動を継続実施してまいりました。これまでの30年間、世界11カ国で植樹を行い、「イオンふるさとの森づくり」・「イオン環境財団による森づくり」「イオン東北復興ふるさとの森づくり」と合わせイオングループ累計植樹本数は約1,223万本となっています。(2021年2月末現在)

また、「植える」活動に加え「育てる」「活かす」活動にも取り組んでおり、そのひとつがユネスコエコパークとして登録されている宮崎県東諸県郡綾町と連携した森づくりです。伐採時期を迎えた町有林の木を中学校の建設材に活用するとともに、伐採跡地に地域に自生する樹種を植えています。また森を中心とした環境教育を実施しており、綾ユネスコエコパークセンターでの教育の他、リモートセンシングを活用した森の状態を把握するための調査も実施しています。2020年12月に「綾町イオンの森」において森の炭素蓄積量の調査を綾ユネスコエコパーク、綾中学校、一般社団法人リモート・センシング技術センターとともに実施し、綾中学校の1年生64名が参加し、森の健康状態や、森づくりの大切さについて学習しました。



綾町(2019年)



植樹地から伐採された木材で
建設された綾町立綾中学校



ユネスコエコパークセンターでの
環境教育



炭素蓄積量調査

■イオンの里山づくり

時代に即した環境課題の解決を目指すため、2020年9月に早稲田大学環境総合研究センター内に「AEON TOWA リサーチセンター」を設立しました。本研究所はこれまでの経験や知見、学術研究を統合し、持続可能な社会の実現を目指していくものです。森づくり、地域づくり、人づくりに取り組み「地球環境の持続性」「人と生活の持続性」「地域社会の持続性」という観点から新たな「イオンの里山」の構築を目指します。

<AEON TOWA リサーチセンターホームページ: <http://www.aeontowa.jp/> >